



4月 としよかんおはなしカレンダー

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

開館時間 9:30~19:00
 土日祝 9:30-17:00 きゅうかんび
 月曜日 休館日 (休)
 (祝日 月曜日のときは翌火曜日)

5月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

NEWS 春のたねまきおはなし会

5/12(日) 11:00~ (40分くらい)
 つるおかしとしよかん 2かい
 ROOM 1 0~2さいのひと → 講座室にて
 てあそび・えほんなど
 ROOM 2 大きい子 → 会議室にて
 すがたりおはなし会
 すがたりとは えほんや道具をつかわずに
 ものがたりをきくことです。バの中におはなしの世界が
 広がります。
 ひみつのプレゼント あります

館内
 おはなし会
 ごあんない

おはすい... 毎週水ようび 4じ~ 丸ほんよみあせ 第3水よは昔語り
 おはどん... 土ようび 3じ~ 丸ほんよみあせ
 おはちび... 第2日ようび せん 0,1,2さい向け 丸ほん手あそび
 第4水ようび 11じ~ ふしあひあそび

おはなしポケットメンバー ぼしゅうしています!
 つるおか市立図書館のよみきかせボランティアグループです。
 おはなし会や、丸ほんよみきかせ、素がたりの研修など活動します
 見学、入会きぼうの方は
 図書館のおはなしポケット 担当へお気軽にごはんらく
 下さい。

☆ 1Fのこびこコーナーでやっています。出入りは自由です。
 『おはなし会スタンプカード』に参加スタンプがたまるとよいことあります。
 おきがるにあそびに来てください。

鶴岡市立図書館本館
 じゃか (0235) 25-2525
 〒997-0036 鶴岡市家中新町 14-7



〜てあそびのわらべうた やってみよう〜

『うめと さくら』

あたらしい友だちとやりたい、くぐりあそびうたです！

♪うめとさくらと あわせてみれば うめのながめはピコシャのシャンシャン



- ① ふたり組をつかって オニをひと組みめます。
- ② オニはむかいあって手をなげ たかくあげて、門をつくります。
- ③ みんなは まるくなって うたいながら 門をくぐります。

♪うさぎがもちくて ほーいほい



- ④ 「ほい」でオニは手をおろし ひと組をつかまえます。
- ⑤ つかまった組のかたぼうずが うしろでしもんします。
- ⑥ つかまった子は こたの ほうのオニのうしろに つきます (どちがどちかは、つかまった子にわかりません)

- ⑦ これをくりかえし せんぶの組がつかまったら うしろについた子の人数を かぞえて、多いほうがかち!



参考・引用文献：福音館書店
近藤信子・柳生弦一郎
『にほんのわらべうた①うめとさくら』
④楽譜とCD

ポケットの穴 からこぼれた話

実は今、ポケットの裏方では お話会で使用するペープサートを作成中です。これは絵本の読み聞かせとは異なり、読み手というよりは語り手もしくは演者の要素が必要になり難しくなってきます。文章は書いていないので暗記し、また絵を見せる効果的なタイミングなどを練習しなくてはなりません。その練習した成果が幼少の子にとってより魅力的に見えるよう作り手としまでも綺麗な仕上がりを目指しております。また、絵本では表現出来ない奇想天外な仕掛けを組み込む事も楽しいものがあります。例えば、ひもを引くとパネルに描かれた犬のしっぽが動く等飽きさせない工夫を注ぎ込むことが出来るからです。ところで、改めてペープサートという単語を調べてみると、そこにはなんと幼児向けの紙人形劇を意味すると書かれていました。ペーパーパペットシアター (paper puppet theater) → 短縮して「ペープサート」と言うことだそうです。どうやら絵本をベースに考えていたので理解が正確ではなかったようです。そして右下のような絵が描かれておりました。鳥さんでしょうか。なかなかいい絵です。幼少の子が描く絵は、ピカソのような引きつけられる魅力を放っているように感じます。何故だか分かりませんが。。なるほど。きっちり造る事もそれはそれで良いのですが、それだけではなく、お話会に来た子が描いた絵をペープサートボードに貼り付けて簡単な寸劇を行うのも喜ばれるかも知れません。良いアイデアを頂いたような気がします。作成中のペープサートは、おそらく今年度に使われることになるのではないかと思います。その時を楽しみにして下さいね。 ~裏方より~



ポケットメンバーのおすすめ作家紹介

三木 卓

1935.5.18-2023.12.1 東京都出身

1973年「鶉」(連作『砲撃のあとで』のうちの一編)で芥川賞受賞
小説の他に詩、翻訳、評論、随筆などさまざまなジャンルを執筆
児童書にも多く関わっています

翻訳絵本



『ふたりはともだち』
(アーノルド・ローベル 文化出版局 1987)
擬人化されたかえるくんとがまくんのシリーズは、光村図書の小学2年生の教科書に掲載されているので知っている人も多いはず他にも『おとうさん おはなしして』(1973)『こぶたくん』(ジーン・バン・ルワール 1995)『やどなしねずみのマーサ』(1975)などローベル関わった作品を多数翻訳 (全て文化出版局刊)



『としかんねこデューイ』
(ブレットウィッター・文 文化出版局 2012)
アメリカの小さな図書館に捨てられていた子猫のおはなし。実話エッセイを基にした絵本版もつけています

創作絵本



『イヌのヒロシ』
(渡邊良重・絵 理論社 1995)
こんなイヌがいたら友達になりたいなど誰もが思うイヌのおはなし



『えいっ』(高島純・絵 理論社 2015)
教科書に掲載された名作に高島さんの絵とともに絵本に。親子でおどかけする楽しい時間のおはなし



『ジュース』
(杉浦範茂・絵 鈴木出版 2019)
どんな子にだって、必ずびったりとついてくる「かげぼうし」。ある日、リョウのかげぼうしは自由奔放にふるまい出して…童話集『ぼたぼた』(理論社)所収の作品が原作